年間授業計画

高等学校 令和８年度（3学年用） 教科　国語　科目 文学国語

教　科：国語　科　目：　文学国語　単位数：　3　単位

対象学年組：第　3 学年　E　組～　F　組

教科担当者：（E組：　）（F組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（ 数研出版　文学国語　）

教科　国語　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】文学的文章を理解するために必要な語句、文脈、表現技法、文学に関する基礎的事項を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】文学作品の内容や表現について、根拠を明確にして解釈・判断し、自分の考えを適切に表現できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】文学作品に関心をもち、自ら進んで読解や表現活動に取り組む姿勢や、他者の考えを尊重し学びを深めようとする態度を育てる。

科目　文学国語　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
語句の意味、語調、文の構造の確認 比喩・象徴・反復・視点などの表現技法の理解 登場人物、場面、語り手の把握 文学作品のジャンルや時代的背景に関する基礎知識の整理 資料を活用した読解	登場人物の心情や関係性を叙述に即して考察 表現や構成の効果を踏まえた解釈 複数の解釈を比較し、妥当性を検討する活動 引用を用いた記述・小論述 話し合いや発表による考えの共有・深化	初読での疑問・感想・着眼点の言語化 読書ノートやワークシートによる継続的な振り返り 話し合いで他者の読みを取り入れる活動 学習内容を踏まえた自己評価・振り返り

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元「山椒魚」井伏鱒二 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章を的確に読み取り、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えることができるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 内容の解釈を踏まえて粘り強く李徴と袁傪の行為を評価し、表現の仕方を工夫して書こうとさせる。	・指導事項 主人公の心情を理解し、主人公がなぜそう感じたか、そう行動したか、生徒自ら考え、自分の意見や考えを論述する。 ・教材　教科書、国語便覧など ・一人１台端末の活用等		○	○	・寓話的表現や一人称の語りの特徴を理解し、比喩・象徴の働きを本文に即して押さえている。 ・山椒魚の心理や行動を根拠に、作品の寓意性や主題について自分の考えを的確に表現している。 ・滑稽さや皮肉を手がかりに、人間の生き方として主体的に考えようとしている。登場人物（山椒魚）に関心をもち、作品理解に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査						○	○		1
	B 単元「小諸なる古城のほとり」島崎藤村・「永訣の朝」宮沢賢治 【知識及び技能】 詩歌という形式に固有の言語的・表現的特徴を理解し、それを読み取るための基礎的な力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 詩歌の語句や表現効果に着目し、作者の心情や主題を根拠をもって解釈させる。作品の魅力や読み取ったことを、文章や発表で分かりやすく表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 詩歌の表現や世界に関心をもち、進んで作品に向き合わせる。自分の感じ方や考えを大切にしつつ、他者の読みや感想にも耳を傾けさせる。	・指導事項 詩語・季語・比喩・象徴・句切れ・リズムなど、詩歌特有の表現技法や構造を理解する。作品が成立した時代背景や作者の立場など、解釈の手掛かりとなる基礎知識。詩歌の表現を手掛かりに、作品の意味や価値を多面的に考え、自分なりの解釈を形成し、言語化する。 ・教材　教科書、国語便覧など ・一人１台端末の活用等	○		○	・詩語・文体・改行の効果を理解し、心情表現との関係を捉えている。文語的表現・反復表現などの特色を理解し、自然描写と心情表現の関係を的確に捉えている ・妹との別れの情景や心情を叙述に即して読み取り、詩の主題を自分の言葉で表現している。 ・生や死、別れという主題に向き合い、自分の経験とも重ねて考えようとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1
2学期	C 単元「檸檬」梶井基次郎 【知識及び技能】 作品特有の表現上の特徴や語りの構造を理解し、読み解くための基礎的知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 作中の描写や象徴表現を根拠に、主人公の心理や作品の主題を多面的に考察し、自分なりの読みを形成・表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 作品世界を他人事として読むのではなく、自分の感情や経験とも照らし合わせながら、主体的に作品に向き合おうとする態度を育てる。	・指導事項 象徴的に用いられている事物とその描写の特徴を理解させる。大正期の都市・近代文化という背景や、作者の病・不安定な精神状態が、作品理解の手掛かりとなることを理解する。不安・憂鬱・美への希求といった感情が、どの場面・どの表現でどのように表れているかを根拠とともに説明できる。 ・教材　教科書、国語便覧など ・一人１台端末の活用等		○	○	・象徴的事物や語りの特徴を理解し、作品世界の構造を的確に捉えている。 ・「檸檬」を置く行為の意味を本文に基づいて多面的に考察し、自分の解釈を明確に述べている。 ・不安や閉塞感、美への希求を自分の問題として捉え、主体的に作品と向き合っている。	○	○	○	19
	定期考査						○	○		1
	C 単元「舞姫」森鷗外 【知識及び技能】 近代小説の成立期に位置する「舞姫」を読むために必要な、叙述の特徴・時代背景・語句や構造に関する基礎的理解を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の言動や叙述を根拠にして、豊太郎の葛藤・価値観・選択を多面的に捉え、近代人の生の在り方として考察し、それを言語化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の葛藤を自分と切り離された出来事としてではなく、進路・責任・社会との関わりと結び付けて考えようとする姿勢を育てる。	・指導事項 エリス・官僚社会・留学経験など、作品理解に関わる明治期の時代背景を基礎知識として押さえさせる。漢語的表現や文語的言い回しを含む文章について、語句の意味や文脈上の働きを理解させる。「功名」「名誉」「愛」「責任」といった価値の対立を捉え、豊太郎の判断の是非や限界について自分なりの考えをもっている。幸福／国家／個人という視点から、複数の読みの可能性として捉えている。 ・教材　教科書、国語便覧など ・一人１台端末の活用等		○	○	・回想形式の語りや時代背景を理解し、作品理解に活用している。 ・豊太郎の葛藤と選択を根拠に、主題を多面的に考察し、論理的に表現している。 ・人生の選択や責任の問題として主体的に考え、他者の意見も踏まえて学習している。	○	○	○	19
	定期考査						○	○		1
3学期	C 単元「舞姫」森鷗外 【知識及び技能】 近代小説の成立期に位置する「舞姫」を読むために必要な、叙述の特徴・時代背景・語句や構造に関する基礎的理解を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の言動や叙述を根拠にして、豊太郎の葛藤・価値観・選択を多面的に捉え、近代人の生の在り方として考察し、それを言語化させる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の葛藤を自分と切り離された出来事としてではなく、進路・責任・社会との関わりと結び付けて考えようとする姿勢を育てる。	・指導事項 エリス・官僚社会・留学経験など、作品理解に関わる明治期の時代背景を基礎知識として押さえさせる。漢語的表現や文語的言い回しを含む文章について、語句の意味や文脈上の働きを理解させる。「功名」「名誉」「愛」「責任」といった価値の対立を捉え、豊太郎の判断の是非や限界について自分なりの考えをもっている。幸福／国家／個人という視点から、複数の読みの可能性として捉えている。 ・教材　教科書、国語便覧など ・一人１台端末の活用等		○	○	・回想形式の語りや時代背景を理解し、作品理解に活用している。 ・豊太郎の葛藤と選択を根拠に、主題を多面的に考察し、論理的に表現している。 ・人生の選択や責任の問題として主体的に考え、他者の意見も踏まえて学習している。	○	○	○	30
							○	○	○	

							○	○		
										合計 105